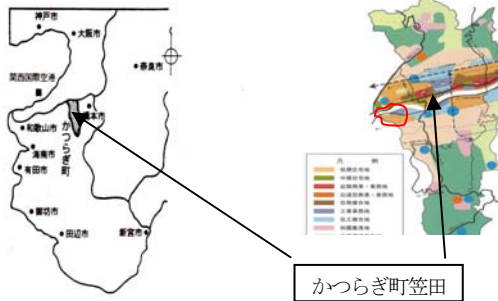


平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	「文化伝統等地域資源を活用した持続可能な地域の形成」-万葉の文化と風土に親しみ、ふるさとおこしに活かす紀伊万葉顕彰事業-
対象地域	和歌山県伊都郡かつらぎ町笠田地区
対象地域の概要	  耕作放棄地 妹背山麓竹林
提案内容の概要	歌枕で知られる妹背山地域を中心に、紀伊万葉の文化・風土について学習し、希薄化する郷土意識を涵養するとともに、世業としてきた地域の農業や産業の調査・見直しを行い、地域の資源を活かした定住できる生業を創出し、「文化と生活」の融合した地域の再生事業を展開する。
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	対象地域では、若年層の都会志向と教育・就労環境等の要因による人口流出や地域の高齢化により、耕作放棄地が目立ちはじめ、後継者問題等、主な産業である農業への影響が懸念されているが、具体的な問題の把握には到っておらず、その実態把握と今後への対応策が大きな課題となっている。 他方、昨年の総合調査の中で、地域内の個々の取り組みやその存在についての情報が共有されていない実態が判明し、個々の取組みを総合的に取りまとめ、発信する枠組みが必要であるとの指摘が出されて、その組織化が課題となっている。
(2) 活動内容の案	活動①：紀伊万葉（妹背山）の文化・風土についての啓発学習会の開催 内容： ●モデル高校での万葉啓発学習会：昨年の要望をふまえ、指定校を2校から3校に増やし、「ふるさと教育」として開講する。現在のクラス単位から全校生に実施するとともに、保護者にも対象を広げて実施する。クラス単位のグループ学習では大学生もTTとして派遣し、「地域の文化・歴史・産業」への理解を深める。 ●地域学習会：対象地域のまとめ役である区長を対象に、地域の現状とコミュニティへの理解を深め、事業への協力者を拡大する。 活動②：紀伊万葉（妹背山）の故地調査 内容： ●総合故地調査： ・昨年は、実施体制の整備に追われたことをふまえ、対象地域を紀北地方から、かつらぎ町のさらに歌枕「妹背山」周辺に限定し、実施する。 ・農業を魅力ある生業とするため、和歌山大学観光学部藤田武弘教授の指導の下、「かつらぎ町役場」と協働して実施する。具体的には「後継問題や耕作放棄地の有効活用」を図る方策と実施の検討に資するため、農業の実態調査と課題分析を行うものである。 ・農業の実態調査の結果を受け、地元関係機関とかつらぎ町役場・地元自治区で構成する「笠田万葉の里（仮称）地域再生会議」を設置し、個々の取組を組織化する。 ●「妹背山触れ合いハイキングコース」の現地踏査とマップ作成： ・かつらぎ町役場・地元自治区・協力者・地域の大学生・高校生も参画した作成チームを立ち上げ、現地踏査をしながら、地域の歴史・文化と農業（農園・直販売所等）を紹介する案内マップを作成する。併せて関係機関・団体と協働してコース整備を実施する。
応募団体名	紀伊万葉ネットワーク
リンク	
部局／担当者名	事務局長 木村 哲也
連絡先	TEL・FAX 0736-22-2953
推薦市町村名	和歌山県伊都郡かつらぎ町

